社長が暴力団と食事したツケ・企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ
はやぶさ2・525号 2021年11月19日(金)

※末尾に Captain 平本著作の「理念経営実戦のすすめ」を
無料（送料100円だけご負担ください）でプレゼント！しています。

<https://kazuzohan.clickfunnels.com/copy-of-facebookqntenibf>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。 地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。
「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。
動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<https://rinenkeieishi.net/>

__c0__ 様

4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ

- ★第1回 社長が暴力団と食事したツケ
- 第2回 コロナ禍にヤクザに乗り取られた病院の末路
- 第3回 暴力団が「コロナ不況」の企業を食い荒らしている
- 第4回 Captain 平本のリスク対策者は・・・

＊＊毎回。Captain 平本の「ワンポイント・コメント」付記

◆著者、竹花氏のご紹介

- ・「手書きソフト」の分野では、世界NO,1 企業の創業オーナー経営者です。
- ランチェスターに熟達した実践者で、
- 石田梅岩の「心学」の造詣も深い企業家です。
- <http://www.penplus.jp/profile.html>

=====

第1回 **社長が暴力団と食事したツケ・・・最大の被害者は従業員**

著者：八起会 代表

竹花 利明

八起会の代表を務めております、竹花利明です。

八起会は、1978年に世界初の「倒産者の会」として野口誠一会長が設立されました。

八起会：<https://yaokikai.com/index.html>

野口会長が2016年に亡くなられた後、

倒産経験がないものの私がこの会を引き継ぐこととなりました。

*その八起会は、毎月第3土曜日の18時から、毎月「月例会」を開いています。

その中で、本年8月21日に開催されたテーマは、

「暴力団との会食で倒産した会社」でした。

3つの事例を研究しましたが、その事例を3回に分け1つ1つ説明させていただきます。

第1回目のテーマは、

「社長が暴力団と食事したツケ…会社が倒産、突然失業した社員『人生返して』」

元記事：<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/779181/>

【元記事より】①

*「社長が暴力団関係者との食事会に参加していたと、警察から問題視されている」と、この4月に、地場大手の設備工事会社（大分市＝S社）が、福岡市などの支店を結んで急きょ開いたテレビ会議で報告。

・S社の社員の男性は、会社側の説明に耳を疑った。

福岡県警は、同社を含む8社の代表者らが

指定暴力団幹部と「密接交際」していたと公表したとののである。

*これに対し社長は、社員向けの配布文書で

「相手が暴力団関係者とは知らなかったが、

警察の取り調べに知っていたと答えてしまった」と釈明した。
と書かれていた。

*「食事程度なら、問題にならないはず」と、
S社の社長は思っていたに違いない。
暴力団関係者とのリスクを考えない安易な付き合いで、
「知らなかった」は、社内向けの言い訳に過ぎないで、無責任な態度であった。

【元記事より】②

②既存の一部の業者から取引が停止されるようになり、社員に動揺が広がった。
テレビ会議から約2週間後の日曜の朝、社員が再び集められた。
「会社は倒産します」と幹部の発表があった。
社員らは「社長は何と言っているのか」と詰め寄ったが、
幹部は「詳しくは答えられない」と言うだけだった。

*長年かけて成長してきたはずの企業が、わずか2週間で倒産の事態になったのである。
倒産と言えば、売上の減少などで徐々に衰え、
資金に追い詰められてゆくのが通常の姿である。
しかし、暴力団に関連すれば、短期間で一度に潰れてしまうのである。
中小企業の経営者は、よくよく心すべきことである。

【元記事より】③

③（職を失った社員は、再就職の面接で・・・味わったことは・・・）
「おたくの会社、反社（反社会的勢力）じゃないですか。
あなたはヤクザじゃないですよね」。と詰問される。
・声を荒らげて否定すると
「何ですか、その態度は。反社の会社の人はその感じなんですね」と
採用試験もまともに受けられなかった。結果は明らかである。

・理不尽な対応に怒りが収まらなかった。
「人生を返してほしい」。

*かつての社長に連絡を取ったが「すみません」と泣き声で謝るばかり

・最大の被害者は、何も知らないまま会社が潰れた社員だ。
職を失ったうえに、あらぬ疑いを掛けられ、地方の狭い職域では
履歴書にS社をかけないで、八方ふさがりになる。

・社員の家族もまた、同じような目で見られるかもしれないと心配になる。
人生にも経営にも、様々なリスクがあることを、経営者は知らねばならない。

引用記事：<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/779181/>

◆この事例から学ぶべきこと◆ *Captain 平本のコメント

・こうしたリスクは、自分の中にある「欲＝楽をして売上をつくりたい」
というところに「魔」がつけこむことによっておきるのです。

そして、気がついていても
自分のアヤマチを世間にさらしたくない気持ちに負けてしまい隠したまま
流されてしまいます。

リスクに気がついたら、最悪の事態（今起きているような・・・）を想定して、
すぐに警察等に相談することが最悪の事態を回避することになるのです。

・いつも従業員や家族のことを考えて、
自分の弱さを振り捨てる勇気をもったのぞめば、
傷は小さく致命傷にはならないのです。

忠告してくれる人がいなかった交友関係も課題ですね。

・事態が進まないうちに、信頼できる人に相談する・・・
難しことですが、恥をかいてでも考働することが、抜け出す道なのです。
そういう私も、欲に流され詐欺まがいの似たような出来事に何度もあって、
月謝を払っています。
「大難を小難」にさせていただいて・・・

今回のテーマは以上はとなります。
お読みいただき、ありがとうございました。

*お問合せ・「理念経営実戦のすすめ」特価（100円）で販売
<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

ご愛読ありがとうございます。

著者：(株)I&C・HosBiz センター
Captain 平本 靖夫

プロフィールは
<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

【1】 #524号・・・21・11・12(金)・・・バックナンバー
https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしく申し上げます。

◆次号 第526号 21・11・26(金)は、
八起会 代表 竹花 利明氏の執筆で

4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ

第2回 コロナ禍にヤクザに乗っ取られた病院の末路
を、お届けいたします。どうぞ楽しみに！

竹花氏プロフィール
<http://www.penplus.jp/profile.html>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本 靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CSA 開発推進責任者
・プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

◆Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

<https://www.facebook.com/MRCkazu/>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。

地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。

「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。

動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<https://rinenkeieishi.net/>

◆お問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本 靖夫、 編集長：岩下 一智 MRC

*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[__stop__](#)